

平成22年度全国学力・学習状況調査が4月20日に実施され、7月30日に文部科学省から結果が公表されました。大東市の全市立小・中学校でも、小学6年生と中学3年生を対象に実施しました。

この調査は、国語と算数・数学で、知識に関するA問題と活用に関するB問題による「学力調査」、児童生徒に学校生活や家庭生活の様子を尋ねた「児童・生徒質問紙」、各学校に取り組み状況や教員の意識について尋ねた「学校質問紙」からなっています。

教育委員会では、分析した調査結果を学校での「授業改善の工夫」および児童生徒の「学習意欲の向上・基本的な生活習慣の定着」に役立てたいと考えています。

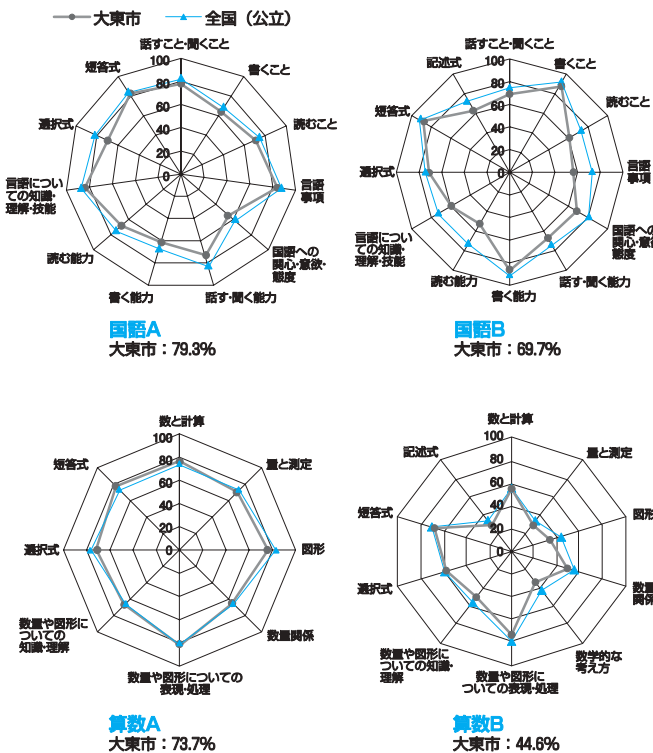
図教育政策室 ☎870・9643

小学校 学力調査の結果より

国語Aおよび算数A・Bについては、わずかな差はあるものの、ほぼ全国の結果と似たような状況にあります。とりわけ算数Aについては、全国を上回る領域も見られます。

国語Bについては、ほぼ7割の正答率となっていますが、全国との差は依然小さくありません。各領域については「選択式」(解答例から正答を選ぶ問題)はよくできていますが、自分の考えをまとめた上で効果的に説明する記述式の問題の正答率が低く、記述する力に課題があります。

〈平均正答率〉

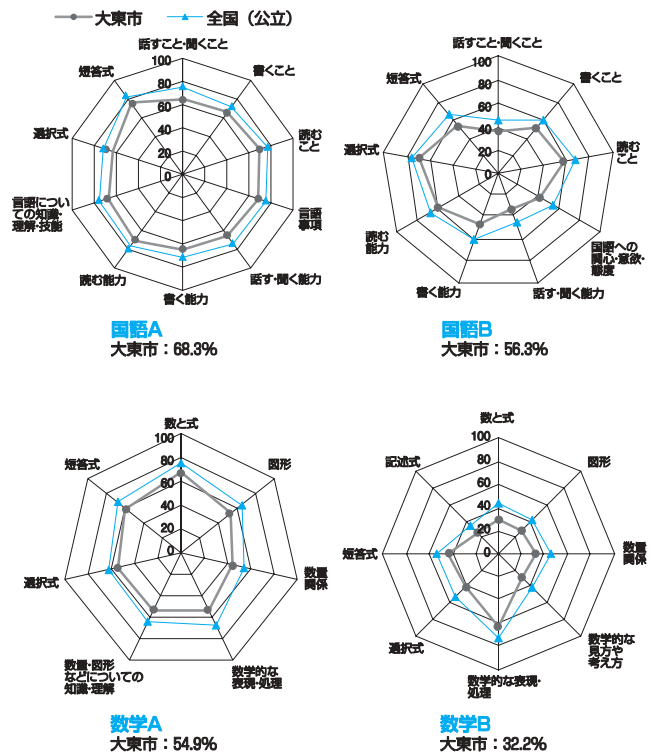


中学校 学力調査の結果より

知識に関する国語A、数学Aおよび活用に関する国語B、数学Bのいずれも各領域について全国との差は依然大きく、厳しい状況といえます。

国語では、自分で工夫して具体的に説明するなど記述式の問題の正答率が低く、記述する力に大きな課題があります。数学においても、数学的な表現を用いて説明したり証明したりする記述式の正答率が低く、記述する力に大きな課題があります。

〈平均正答率〉



学習状況調査から見えてくる課題と 大東市の取り組み

大東市教育委員会では、平成21年4月に策定した「大東市教育ビジョン」に基づき、各学校において「基礎・基本の定着」の継続した指導を進めるとともに、自立・協同する力を育み「自ら学ぶ力」と「学び合う力」を高めるための「授業改善」（「学び合う授業づくり」）に重点を置いて取り組んでいます。

※下のグラフは「平成22年度児童・生徒質問紙（学習状況調査）」の数値を基に作られています

学び合う授業づくり



「学び合う授業づくり」では、「先生が一言一答で進める一方通行の授業」から「子ども同士による交流のある授業」を目指しています。

具体的には、お互いの考えの根拠を班などの小集団で話し合い、発表し合う時間をつくります。ただ「答えだけを発表する」のではなく、小型のホワイトボードなどを活用し、「答えの理由も説明する発表」を授業の中で展開し、「多様な考え方」を引き出していきます。何を手掛かりに、どう考えればよいのかという視点を、子どもたちに身に付けさせることにつながります。また、小集団での活動を通して、協力して互いに高め合う態度を育成することも目指しています。

右の「平成22年度『児童・生徒質問紙』質問別に見た「国語B」および「算数・数学B」の正答率」からも分かるように、『学び合う授業づくり』による「授業改善」は、小・中学校にかかわらず、子どもたちの学力を向上させる取り組みとなります。

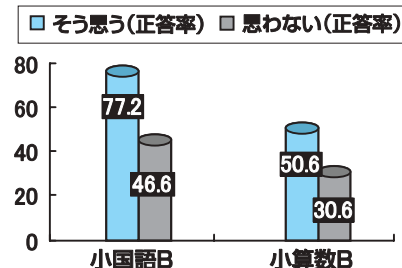
平成22年度「児童・生徒質問紙」質問別に見た「国語B」および「算数・数学B」の正答率

「グラフ1」を見ると、小学校において、「ふだんの授業で自分の考えを発表する機会をあたえられている」と思っている児童は、そうでない児童に比べて、国語Bで30.6ポイント、算数Bで20ポイントも正しい答えを解答している率（正答率）が高いことが分かります。

「グラフ2」を見ると、小学校算数・中学校数学の授業において、「問題を解くとき、もっと簡単な方法がないか」を考える児童・生徒は、考えない児童・生徒に比べて、小学校算数Bで16.1ポイント、中学校数学Bで18.3ポイントも正しい答えを解答している率（正答率）が高いことが分かります。

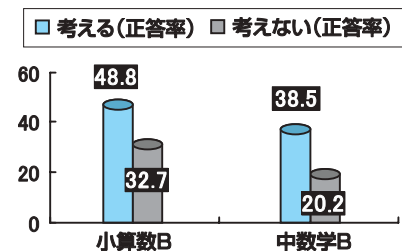
グラフ1

㊦ ふだんの授業では、自分の考えを発表する機会があたえられていると思いますか



グラフ2

㊦ 算数・数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか

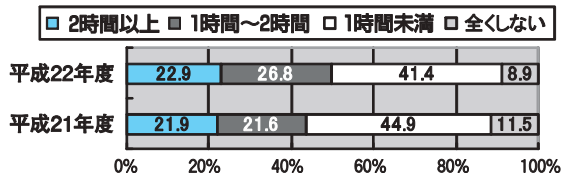


ご協力をお願い

児童・生徒の学力は、必ずしも学校における教科の学習活動だけに左右されるものではなく、基本的な生活習慣と深い関係があり、家庭・地域のご協力をいただいた結果、下の「グラフ3・4」のように改善傾向が見られるようになりました。

今後とも「家庭学習習慣の定着」「毎日の朝食」のみならず、「早寝早起き」「テレビやビデオの時間」「インターネットの時間」「携帯電話の購入・使い方」など、より良い生活習慣を定着させるために、ご家庭のご理解とご協力をお願いいたします。

グラフ3 ㊦ ふだん何時間勉強しますか（小学校）



グラフ4 ㊦ 朝食を毎日食べていますか（中学校）

